

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2018 年度在宅医療助成（前期）指定公募

「在宅医療推進のための学会等への共催」完了報告書

**患者・家族メンタル支援学会第4回学術総会**

団体名：患者・家族メンタル支援学会第4回学術総会

申請者：患者・家族メンタル支援学会第4回学術総会 総会長

橋田 亨（神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長）

提出年月日：2018年12月4日

1. 大会名称：患者・家族メンタル支援学会 第4回学術総会
2. 大会テーマ：地域でつながる支援に向けて
3. 総会長：橋田 亨(神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長)
4. 開催日時：2018年10月27日(土) 10:00~16:30

2018年10月28日(日) 9:45~16:00

5. 開催会場：神戸市立医療センター中央市民病院 講堂
6. 主催：患者・家族メンタル支援学会
7. 共催：公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
8. 事務局：神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部
9. 共催企業：

共催セミナー 2社

広告 24社

10. 参加人数：88名

11. 参加費：

	事前申込参加費	当日申込参加費
会員(医師・歯科医師・弁護士)	8,000円	9,000円
会員(上記以外)	3,000円	4,000円
非会員(医師・歯科医師・弁護士)	9,000円	10,000円
非会員(上記以外)	4,000円	5,000円
学部学生	3,000円	4,000円

## 12. 感想：

本学術総会は、兵庫県神戸市にて2日間にわたり、「地域でつながる支援に向けて」というテーマで開催することができました。本学会は外職種が参加し、幅広いテーマを内包している学会であり、とりわけ医療系の学術集会としては非常に珍しい、法律関連の教育講演やシンポジウムも開催しています。「メンタル支援」という視点を通じて幅広い問題が対象となることで、普段所属している領域とは少し違った情報を参加者が入手できるのは本学会の大きな特徴と言えます。今回の学術集会も緩和ケアから在宅医療、アドバンス・ケア・プランニング、医療安全、医療訴訟に関連する法律的な問題など、非常に幅広い内容の演題を用意することができました。

シンポジウムでは、「チームと地域でつなぐ、がん医療」、「自分の人生の最終段階を自分で考えたいとの願いに応えるために医療側ができることは～終末期医療における自己決定の現状と課題～」および「地域におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）～救急搬送の場面でどのように本人の思いをつなぐか～」と題して急性期から慢性期の患者・家族を、地域で支える成果や課題が議論されました。教育講演ではこれらに関する様々な視点から議論を深めることが出来ました。さらに一般講演では、心不全、肝炎、遷延性意識障害といった演題も加わり、より多面的な内容が議論されました。

本学術集会を実施したことで、在宅や地域で医療をうける患者・家族に対し、様々な医療従事者の連携による支援を実践するための知識や経験を共有することができました。その結果として、患者と家族が必要としている身体的・精神的・心理的支援がより一層充実するものと期待されます。

超高齢化社会を迎え、在宅・介護医療に関する問題、さらにこれまでの医療における患者さんとその家族が必要としている、病苦・ストレス性疾患・医療事故経験・心身障害など様々な局面において必要とされている精神的・心理的支援について、当学会では今後も医療機関ならびに地域における診療とケアの一層の向上を目指し、社会貢献を果たして参ります。

### 13. プログラム：

#### 1 日目 (10/27)

10:00～10:10 開会のご挨拶

橋田 亨（神戸市立医療センター中央市民病院）

10:10～12:00 シンポジウム 1

「チームと地域でつなぐ、がん医療」

オーガナイザー・座長：池末 裕明（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部）

橋本 真理子（神戸市立医療センター中央市民病院 看護部）

S1-1 乳がんチーム医療の現状と、患者の精神的ケア向上への試み

加藤 大典（神戸市立医療センター中央市民病院 乳腺外科）

S1-2 遺伝性乳がん卵巣がんの遺伝カウンセリングとチーム医療

吉田 晶子（理化学研究所 網膜再生医療研究開発プロジェクト／神戸市立医療センター中央市民病院 家族性腫瘍外来）

S1-3 がん患者のアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の支援

梅田 節子（神戸市立医療センター中央市民病院 看護部・緩和ケアチーム）

S1-4 入院から外来、地域でつながるがん薬物療法

池末 裕明（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部）

12:15～13:15 ランチョンセミナー1 共催：中外製薬株式会社

座長：橋田 亨（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部）

急性期病院における認知症とせん妄対策

～コンサルテーション-リエゾン活動の立場から～

演者：谷向 仁（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻／京都大学医学部附属病院 緩和医療科）

13:30～14:00 一般口演 1

O-1 末期心不全患者に対する多職種心不全チームの取り組み

登 佳寿子（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部）

O-2 化学療法副作用に悩む患者の服薬指導時に聴取した言葉から、チームで意思決定支援に関わり、化学療法中止し平穏な日常生活を送る一例

小林 徳子（富山西総合病院 薬剤科）

14:00～14:30 教育講演 1

- E-1 終末期がん患者の代表的な症状とその治療薬  
岡本 禎晃（市立芦屋病院 薬剤科）

14:30～15:00 教育講演 2

- E-2 患者・家族メンタル支援と医療事故  
井上 清成（井上法律事務所）

15:00～16:30 シンポジウム 2

「自分の人生の最終段階を自分で考えたいとの願いに応えるために医療側ができることは～終末期医療における自己決定の現状と課題～」

オーガナイザー・座長： 松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

- S2-1 終末期の診療方針は誰が意思決定するのか  
～日本的な『患者家族中心』の意思決定の現状と問題点～  
松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）
- S2-2 米国における終末期意思決定の現状と課題  
～米国医療機関での勤務経験から～  
岸本 早苗（京都大学大学院 医学研究科 健康増進行動学分野）
- S2-3 終末期医療における医療者の役割とは  
～京都市の『事前指示書』や臨床現場の問題を例に～  
佐藤 恵子（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

2日目 (10/28)

9:45～11:30 一般口演 2

- O-3 医療、介護、福祉の多職種連携によるケアリングの検討  
～どこまで支援するのか～  
清田 敦彦（医療法人 清清会 清田クリニック／京都大学大学院 人間・環境学  
研究科）
- O-4 HCV 陽性患者への結果の説明漏れに対する患者及び職員へのサポート  
太田 真希（ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 医療安全管理室）
- O-5 在宅生活を送る遷延性意識障害者・児の家族介護者のレスパイトに関する予備的

研究：面接調査の結果より

大西 久男（大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科／地域保健学  
域総合リハビリテーション学類）

- O-6 緩和医療に関わりの無いまま突然に終末期後期・死亡直前期を向かえた症例に対  
する薬剤師の役割～薬剤指導と処方提案を通して～

奥野 昌宏（神戸市立医療センター西市民病院 薬剤部）

- O-7 急性期病院における、救命蘇生後家族の希望により人工呼吸器を外した1事例

小島 由記子（ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 患者支援室）

### 11:30～12:00 教育講演 3

- E-3 医療安全における患者・家族メンタル支援

新村 美佐香（菊名記念病院 医療安全管理室）

### 12:15～13:15 ランチョンセミナー2 共催：あゆみ製薬株式会社

座長：田中 詳二（神戸市立医療センター西市民病院 薬剤部）

関節リウマチと線維筋痛症

演者：奥田 康介（松原メイフラワー病院 整形外科）

### 13:30～14:00 教育講演 4

- E-4 患者・家族が医療安全に参加するためには何が必要なのかを考える

楠本 茂雅（ベルランド総合病院 クオリティ管理センター）

### 14:00～14:30 教育講演 5

- E-5 連携と ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の関係性

岡村 紀宏（公益社団法人 日本医療社会福祉協会／社会医療法人恵和会 西岡病院）

### 14:30～16:00 シンポジウム 3

「地域におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）～救急搬送の場面でどの  
ように本人の思いをつなぐか～」

オーガナイザー：西川 満則（国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部）

角 保徳（国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター）

座長：西川 満則（国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部）

岡村 紀宏（公益社団法人 日本医療社会福祉協会／社会医療法人恵和会）

西岡病院)

- S3-1 ACP と救急～介護支援専門員の立場から本人と家族の気持ちを代弁する～  
大城 京子 (レモン介護サービス)
- S3-2 がん終末期の DNAR 患者を搬送する救急隊の真意と、救急隊への ACP 教育  
杉浦 真沙代 (半田市立半田病院 麻酔科)
- S3-3 アドバンス・ケア・プランニング (ACP) と救急医療  
～患者の意思を繋ぐ地域 ACP の視点から～  
西川 満則 (国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部)
- S3-4 ACP と救急～法律家の立場から見た「救急医療に関する医療介護職の懸念について」～  
加藤 久雄 (加藤法律事務所)

謝辞

この度の学術総会に対し、在宅医療助成勇美記念財団より助成をいただきましたことに深く感謝いたします。